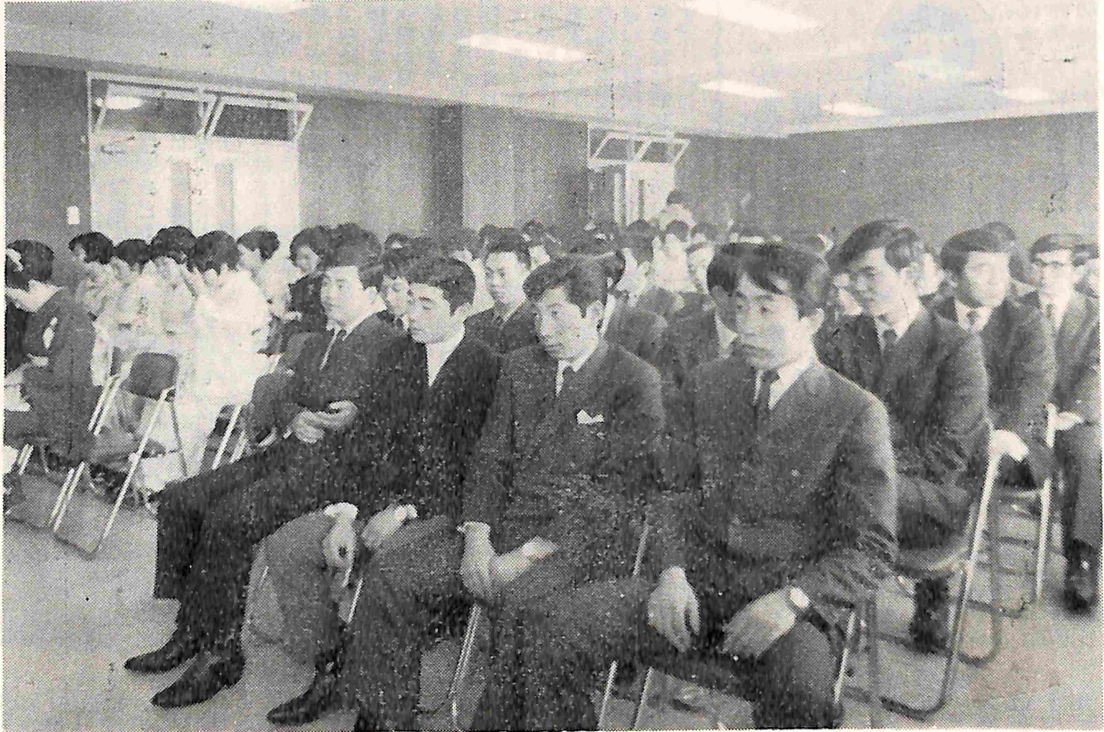


発行 青森県金木町役場 編集 企画室

農林業センサスを実施
 二月一日を基準として一九七〇年農林業センサスが実施されます。
 農林業センサスというのは簡単にいえば、農林業の実態調査のことで、最も重要な統計調査の一つとされています。
 もちろん、税金などに利用されることは絶対にあります。調査員がお伺いした時にご協力下さるようお願い申し上げます。
 (企画室 統計係)



決意も新たに社会に飛び立つ307人 - 成人式

昭和45年の金木町の成人式は15日午前10時から役場会議室で行なわれました。
 三上町長の式辞に続いて、泉谷教育委員長、原田町議会議員、花田一氏らが、「大人としての自覚を持ち立派な社会人となり、郷土発展のためがんばってほしい」と励ましの言葉を述べました。
 これに対して、新成人を代表して金木町寺町の角田晋

逸さんが「先輩の皆さんに負けないようにいっしょうけんめいがんばります。」と誓いの言葉を述べました。
 最後に、金木町嘉瀬出身で、日の出興業株式会社社長木下知氏の記念講演がありました。
 金木町の新成人の該当者は 307人 (男 132人、女 175人) で、この日出席したのは 125人 (男 45人、女 80人) でした。

職員採用試験の実施について

次の要領で金木町職員の採用試験を行ないます。

一、受験資格

金木町に居住している者で年齢満十八歳以上(今春高校卒業者を含む)二十五歳までの女子。

二、受付期間

昭和四十五年一月二十六日から二月十日正午まで。

三、採用予定人員

①一般事務職員二名 ②タイピスト一名 ③電話交換手一名 (いずれも未経験者でもよい)

四、手続

受験しようとする者は、①採用願書 ②履歴書 ③卒業証明書 ④成績証明書各一通を受付期間内に役場総務課まで提出して下さい。

五、試験

①試験日 昭和四十五年二月十三日(金)午後一時から
 ②内容 面接試験とし、必要に応じ筆記試験を行なうこともある。

六、採用時期

昭和四十五年四月一日

七、採否の決定

試験合格者及び採用者については、本人に文書で通知。
 昭和四十五年一月十七日

金木町長 三上武男

新年のごあいさつ

金木町長

三上武男



昭和四十五年を迎え町民の皆さんに謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

ご承知のとおり、昨年は国の内外を問わず、明暗さまざまな出来事がありました。なかでも、アポロ11、12号の月着陸や大学紛争、年末の総選挙などが最も国民の関心を集めた出来事であったと思えます。

わが金木町においては、金小プールの完成、営林署の移転新築、今定博君の長崎国体高校重量あげ優勝などがありますが、なんといっても役場庁舎の新築完成が最大の出来事でありました。

私たちは、役場庁舎の完成を契機として、心機一転職責を全うするため頑張りたいと固く決意しております。

思えば、私が昭和三十七年四月町長の職務を任せられてから八年になるわけですが、その間、常に派閥の解消と町民融和を念頭に置き、町民福祉の向上のため、いろいろな施策を実施してまいりました。

そして、金木農協の再建、国営小田川農業水利事業の着工、南中学校の新築、農業構造改善事業の実施、川倉・蒔田児童館の建設、

喜良市保育所の建設、喜良市診療所の新築、金小プールの建設、町営住宅団地の造成、役場庁舎の新築など、重要な懸案をどうにか解決できましたのは、町議会、町民各位のご理解ご協力の賜と心から感謝の念を禁じ得ません。

今後の金木町の残された課題としては、町税の標準税率化による減税、公民館の建設、上水道の設置、危険校舎の解消等々、難問が山積しておりますが、私はこれら

の一日も早い実現を強く念願しております。

当面は、水田の一割減反が大きな問題となりますが、これについては、国、県の動向を注意深く見守り、慎重に対処したいと考えています。

年頭にあたり、所信の一端を申し述べ、町民の皆さんのご健康をお祈りして新年のごあいさつとします。

金木町議会議長

原田一実



一九七〇年の新春を迎え町民の皆様にお祝いの言葉を申し上げます。

昨年は、わが金木町にとって、行政センターともいえるべき役場庁舎が完成した記念すべき年でありました。「居は氣を移す」という

ことわざもありますが、われわれは、議会に課せられた責務の重大さをいよいよ深く肝に銘じ、町民の負託にこたえなければと決意を新たにしています。

さて、現下の社会情勢は、激動という言葉で表現されるにふさわしく、激しい勢いで移り変わっており、それに伴って派生する問題も複雑多岐にわたり、政治の担当する分野もますます拡大しております。

したがって、われわれ地方政治を担当する者も、時代の進展に即応できる鋭い感覚を養い、住民の望んでいるものは何かということ

国民年金

高齢者の任意加入の再開について

再開について

を正しく掌握し、その任に当たらなければならぬと考えます。現在いわれております総合農政の展開、とりわけ、水田の一割減反の問題は、稲作を最大の経済基盤とするのが金木町にとってゆがせにできない問題であり、われわれは一致して農家の立場に立ちその処理に当たる決意です。

いたすらな対立抗争をさげ、町民の声を正しく反映する町政の確立にさらに努力したいと考えておりますので、いっそうのごべんたつご指導をお願い申し上げます、新春のごあいさつとします。

明治三十九年四月二日から明治四十四年四月一日までに生れた人で、昭和三十六年国民年金制度発足当時、加入しなかった人たちがその後制度の趣旨を理解し加入を希望する人が多くなりました。

これが反映され、今回給付額夫婦二万円年金実現を柱とする国民年金法の大改正を機会に加入を再開することが予定されています。

一、加入できる人
明治三十九年四月二日から明治四十四年四月一日までに生れた人で、現に他の公的年金(厚生年金、船員保険、各種共済組合及び農林漁業団体職員共済組合)に加入していない、他の制度から老齢(通算老齢)給付を受けることができ

る人を除きます。
二、加入の申出期間
昭和四十五年一月五日から昭和四十五年六月末日まで。(この期間以後は受理いたしません。)

三、保険料
一カ月につき七五〇円。
四、保険料を納付する期間
五カ年。(申し出をし、保険料納付済期間が五年に達したとき受給権が発生します。)

新年名刺交換会

百三十人が出席

恒例の新年名刺交換会は一月一日午前十一時から役場で行なわれ百三十人が出席し盛会でした。

三上町長のあいさつの後、水田一氏、原田町議会議長、山下金木営林署長、片寄金木警察署長、高橋商工会長が新年の抱負を述べました。



【新年名刺交換会】

名月会とロータリークラブが寄金

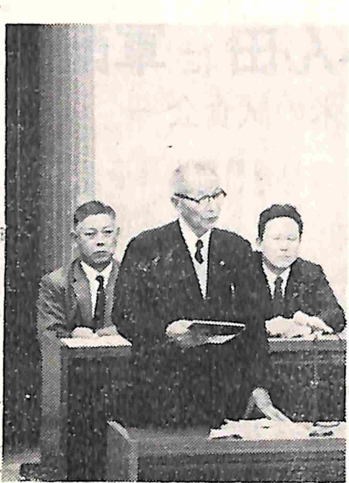
困っている人たちに少しでも楽しい正月をおくってもらおうというので始められている歳末助け合い寄金に、名月会(大橋みん会長)が一万円、金木ロータリークラブ(鳴海健吉会長)が二万円寄金しました。

第五十三回定例町議会

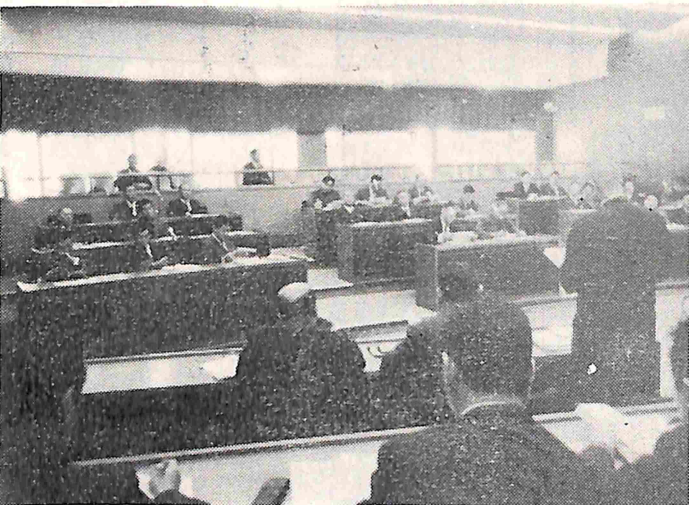
教育委員に今氏が再任

第五十三回定例町議会は十二月十七日招集され、昭和四十四年度一般会計補正予算など九議案を原案どおり可決し、十九日閉会しました。

第五十三回定例町議会は十二月十七日招集され、昭和四十四年度一般会計補正予算など九議案を原案どおり可決し、十九日閉会しました。



【提案理由を説明する三上町長】



【議場風景】

② 農業をとりまく情勢が厳しくなっていることから、町内の四つの農協は合併すべきだと思うが、合併問題はどうなっているか。(これまで数回話し合いをしたが、思うように進展しなかった。しかしあきらめたわけではなく、今後も努力するつもりである。)

③ 町税の超過課税をやめて、標準税率にする考えはないか。(財政事情とにらみ合わせ、前向きな姿勢で検討したい。)

④ 消防署を設置するのは金木町単独では無理なので、消防の広域化を図るべきだと思うが、どうか。(隣接市町村と話し合ってみよう。)

⑤ 庁舎内の課の配置に適正でない面がある。(課の配置については再検討してみる。)

⑥ 公民館の建設はどう進めるのか(旧営林署庁舎の貸与申請を出しており、当面これを中央公民館にし、嘉瀬、喜良市にも新築したいと考えている。)

⑦ 乳幼児の医療費を無料にすべきである。(乳幼児だけでなく、妊産婦、高齢者の十割給付も考えている。)

固定資産評価員に 中村本真氏



【中村氏】

身上の固定資産評価員に中村本真氏を任命した。

中村本真氏が一月一日付けで選任されました。中村氏が就任を承諾したことにより町議会議員の資格は自動的になくなりました。

共同募金

目標額をこえる

昭和四十四年度の金木町における共同募金は皆さんのご協力により目標額の二十八万二千円を三十四万七千円こえる二十八万五千四百七十円集まりました。

農業用免税軽油の 申請受付について

五所川原県税事務所
所では昭和四十五年の農業用免税軽油の申請を下記の要領で受付ます。

一、受付期間 二月二十日から二十三日まで。

一、受付場所 五所川原市柳町 五所川原県税事務所。

一、必要なもの

① 個人の場合

- ① 免税軽油使用者証(新規申請者は機械の譲渡証明書)。
- ② 耕作証明書。
- ③ 印章。
- ④ 前年に購入した軽油の納品書。
- ⑤ 青森県収入証紙百円(新規申請者と四十五年中に使用者証が無効になるもの)。
- ⑥ 防除組合、トラクター利用組合等の場合
- ⑦ ①に該当する書類のほかに、
- ⑧ 受益面積の証明書
- ⑨ 組合員の名簿(個人ごとに押印すること)
- ⑩ 規約(新規申請者のみ)
- ⑪ 組合長印
- ⑫ 前年の実績と軽油受払状況調
- ⑬ 昭和四十五年の作業計画書と軽油の使用計画書

鶏ふん田に軍配

一米の試食会



【米の試食会】

金木町農業委員
会と金木地区農業
改良普及所では、
昨年、鶏ふんの活
用と水田の土質改
良、生産費の低減
を図る目的で、乾
燥鶏ふん施用の試
験田を設定し、普
通田よりも増収と
いう結果を得まし
た。

そこで、味の方
はどうか、という
ことで、十二月二
十三日、斜陽館で
農協婦人部、婦人
会、協力農家など関係者二十人を
集め、鶏ふん田の米と普通田の米
との試食会を行いました。

アンケートをとった結果、うま
いというのが鶏ふん田の方が六に
対し普通田の方が八でしたが、や
うまくない、うまくない、が鶏
ふん田の方にはなく、普通田の方
が四で、総合判定ではわずかの差

で鶏ふん田の方に軍配があがりま
した。

金木町農業委員会と金木地区農
業改良普及所では、今年も試験を
実施して、結果がよければ、本格
的に奨励してゆくことにしていま
す。

引揚者交付金債券 の買上げについて

引揚者特別交付金国庫債券をお
持ちの方で、昭和四十四年七月、
八月の集中豪雨および台風七、八
号により被害を受けた場合は、そ
の債券を買上げ償還する制度がで
きました。被害を受けた方で、詳
しいことを知りたい方は、役場民
生課におたずね下さい。

町営住宅の 入居申込の受付

芦野グラウンドの東側に建設を
進めている昭和四十四年度町営住
宅二十六戸が間もなく完成します
ので、次ぎの要領で入居申込を受
付します。

- 一、申込資格者 ①同居の家族が
ある者 ②住宅に困っている
ことが明らかなる者 ③金木町
に住所または勤務先を有する
者 ④町税を滞納していない
者 ⑤年収が一定の基準以下
の者(扶養家族一人の場合五十
万五千円以下、二人の場合
五十万五千円以下、三人の場合
五十九万五千円以下の者)
- 一、申込期限 二月二十日まで
- 一、申込先 役場民生課(申込用
紙は民生課で交付)

感電事故を なくしよう

冬は感電事故が発生しがちです
ので、次のことに充分ご留意なさ
るようお願いいたします。

- ①電柱にのぼったり、電線や変圧
器などにふれることは、絶対し
ないでください。
- ②電柱や鉄塔の近くでのタコあげ
やスキーあそびはやめましょう
- ③雪おろしのとき、頭の上や近く
の電線に十分注意してください
- ④電線が切れたり、雪の重みで切
れそうになっているときは、近
くの電力会社にご連絡ください
- ⑤たれさがったり、切れたりした
電線には、絶対さわらないこと
(東北電力)

金木南中が大活躍

県中学校スキー大会

一月十三日からむつ市釜臥山ス
キー場で開かれた第二十回県下中
学校スキー競技会(男子一部)で
金木南中学校(小山内末美校長)
は、純飛躍を中心に大活躍し、学
校対抗得点では大鵬中学校に次い
で二位になりました。

純飛躍競技では原田功君が13
8・8点(35歳、30歳)で一位、
工藤一弘君が134点(30歳、33
歳)で二位、鎌田由張君が109

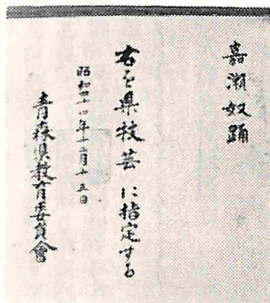
十四日会が保育所 などにプレゼント

十四日会(代表者田中豊蔵さん)
では、十二月十七日、町内の各保
育所、児童館の児童にクリスマスマ
スプレゼント(三万円相当)を贈り
喜ばれました。

十四日会というのは、町内の青
年事業家有志十人の親睦団体です
が、昨年も贈物を届けています。

奴踊りが 県文化財に

嘉瀬の奴踊り(代表者山中熊四
郎さん)が十二月五日付で県文化
財の指定を受けました。



【文化財指定書】

戸籍の窓

11・12月届出分
生まれたる人
☆外崎由紀子(幼 長女) 若松町

- ☆泉谷光輝 (和雄3男) 川倉
- ☆田中和也 (金一長男) 若松町
- ☆中谷浩二 (清彦長男) 川倉
- ☆中谷 諭 (俊逸長男) 川倉
- ☆白川端代 (勝信長女) 若松町
- ☆宮丸真民 (恒信2男) 南新町
- ☆佐藤佳子(文一郎長女) 山道町
- ☆沢田昌良 (悦郎長男) 美晴町
- ☆沢田冬美 (文男長女) 沢部
- ☆津島光子 (順治長女) 若松町
- ☆白川美津子(久慶3女) 川倉
- ☆白川 恵 (武三長女) 南新町
- ☆原田勝彦 (誠一長男) 藤枝
- ☆大槻利美(竹二郎2女) 山道町
- ☆白川剛宏 (清輝2男) 沢部
- ☆今麻子 (智夫長女) 若松町
- ☆岡田義明 (義男2男) 林町
- ☆岡田路恵 (吉治長女) 若松町
- ☆藤元小百合(文雄2女) 上派立
- ☆伊丸岡佐緒(輝英雄長女) 若見町
- ☆古川健一 (秀悦長男) 川端町
- ☆木下 香 (祥 長女) 下鍛冶町
- ☆山中英幹 (慶勇長男) 下鍛冶町
- ☆須崎秀勝 (勝 長男) 下新町
- ☆原田幸子 (幹雄長女) 中柏木
- ☆斎藤孝幸 (行証長男) 畑中
- ☆秋元隆男 (金造2男) 東町
- ☆斎藤恵美子(彦三長女) 東町
- ☆棟方良治 (文弘長男) 下小栗町
- ☆鳴海あゆ子(等 2女) 本町
- ☆浜田理子(満 長女) 車町
- ☆山中美由紀(賢二長女) 新堤町
- 死んだ人
- ☆石川市太郎 (五九) 若松町
- ☆中谷ミヨ (五四) 川倉
- ☆田中昭則 (二九) 北新町
- ☆大橋篤太郎 (六八) 浦町
- ☆白川みせ (七一) 川倉
- ☆古川兼五郎 (四五) 上柏木町
- ☆今 盛栄 (五八) 北本町
- ☆工藤よね (九三) 野崎
- ☆沢田清治 (五一) 下鍛冶町
- ☆阿部ハツ (六九) 中派立